

総合的な学習の時間 “その道のプロ”へのインタビュー④

インタビュアー：みなさん、こんにちは。“その道のプロ”へのインタビュー。第4回目は、栄養教諭です。

こんにちは。

本日は、お忙しい中、中学生のために時間をとってくださり、ありがとうございます。
まずは、栄養教諭の仕事内容について教えてください。

栄養教諭：大きく分けて2つあります。一つ目は給食の献立作成や食材の発注、調理員さんへの調理指導などの給食管理です。二つ目は、子どもたちに向けた食育や安全面の管理です。

インタビュアー：ありがとうございます。

今、紹介してくださった仕事の中で、特に、中学生がイメージしにくいだろうと思われるもの、知らないだろうと思われるものについて、詳しい説明をお願いします。

栄養教諭：毎日できあがった給食を小学校と中学校の校長先生に検食していただいています。感想をお聞きして、毎日の反省に生かしています。食育については、小学生に向けては各学年1回以上の授業を行っています。また、地元の農家さんや講師の先生方とコラボした食育の計画も立てています。

安全面への管理は主に食物アレルギーの児童への個別指導や保護者の方との面談を行い、事故のないように配慮しています。

インタビュアー：ありがとうございました。では次に、この仕事を目指したきっかけを教えてください。

栄養教諭：高校の時に大好きなスポーツ選手の食事のメニューコンテストに応募したことがきっかけで、健康や栄養について興味を持ちました。

元々料理をすることや、食べることも好きで、大好きな子どもたちを色々な料理で健康にしたいと思い、この仕事を目指しました。

インタビュアー：ありがとうございました。この仕事に就くには、どんな資格が必要ですか？

栄養教諭：管理栄養士または栄養士です。

インタビュアー：ありがとうございます。

では、この仕事のやりがい・やって良かったと思うことと、苦勞・つらい時のことを教えてください。

栄養教諭：給食の残渣がなかったり、皆さんが食に関して興味関心を示してくれるとやっけてよかったと思います。つらいことはほとんどありませんが、皆さんが笑顔であいさつをしてくれたり、声をかけてくれると嫌なことも忘れてしまいます。

インタビュアー：ありがとうございました。

最後に、中学生へのメッセージ・未来へのエールをお願いします。

栄養教諭：将来の夢を持つことはとても大切です。夢や目標が見つからない人は、色々なことに挑戦したり、興味を持つことから始めてみてください。これから素晴らしい夢を見つけるチャンスはたくさんあります。がんばってください。

インタビュアー：本日は、お忙しい中、中学生のために時間をとってくださり、ありがとうございました。

生徒のみなさん、今回の感想を、学習・生活記録に書いておきましょう。

これで、第4回“その道のプロ” 栄養教諭へのインタビューを終わります。